

人UNAGARU

2025

地域とつながる鶴二小

3学期の活動は、学年の締めになるものも多く、この一年間でいろいろな経験をしてきた子どもたちが自信に満ちあふれた表情をするようになります。その顔を見ると、VCとして活動を支えることができ良かったと実感します。

さて、今年度のVCだよりはいかがでしたでしょうか。科目別に記事をまとめ、他学年の活動記事も目に留まるように工夫をしました。来年度は、地域人材の活用についてより分かりやすくお届けできるように努めてまいります。

最後になりましたが、今年度もたくさんの方に支えていただきましたこと、心より御礼申し上げます。来年度もよろしくお願いいたします。

3学期 / 全コーディネート件数

17 / 61 件

図書

ゲストティーチャー

井上 直子さん 紙芝居いっぷく座・鶴二小卒業生
読み聞かせ時間に昔話の紙芝居を披露していただいています。



井上さんには、毎回学年のクラス分の対応をしていただいています。紙芝居の特性上、人数が多いと伝わりにくいかもしれませんが、学年によっては図書の時間がまちまちで、1日に3回だったり、連日だったりとなる中、快くお引き受けくださっています。今年度は全学年に披露していただきました。ありがとうございました！

4年 「やかんなめ」



梅が見頃の時期に合う落語を選んでいただきました。昔は花見というと梅の花を見に行くことだったそうです。また、持病の癩、あいぐすりなど登場する言葉

の説明を添えながらお話を進めてくださいます。登場人物が多く、テンポがよいお話ですが、井上さんの見事な演じ分けと落語ならではの滑稽な会話を聞き分け、大笑いの子どもたちでした。

6年 「大きなぶにと小さなぶに」



「ぶにとってなんだろう？」タイトルを見て、全員が思ったことです。これは昔話のひとつで、持って生まれたものをどう生かしていくかが大切というお話です。紙芝居

居後には自分の思う「ぶに」について、生まれ持った才能、運勢、価値、個性など、ちょうどスキル科で「自分らしさ」を考えている子どもたちからたくさんの意見がでました。最後に井上さんからは、人と交換できない自分だけのそれを受け止め、どう伸ばしていくのが大切とエールをもらいました。